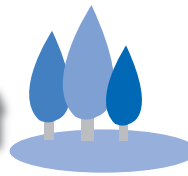




本宮市の皆さんを紹介するページ

みんなのひろば



今月の人

大内 晃さん

AKIRA OOUCHI

(松沢字平郎内)

趣味はドライブとカラオケ。
ラップ演奏が特技です。



私の随想録

「大好きな消防団とラップ隊」

私は松沢で生まれ松沢で育ちました。私は松沢が大好きです。大好きな松沢に貢献したいと思ひ、消防団に入隊しました。
消防団活動として災害時、火災・風水害・行方不明者捜索など様々な活動を行っています。災害の無い時は、火防・警備・警戒活動・機械器具点検などを行っています。
仕事との両立は大変ですが、とてもやりがいがあります。消防団活動を通して、素晴らしい先輩と仲間に出会えたことは一生の宝です。

また、本宮支部ラップ隊にも所属しています。活動内容としては、観閲式などの式典行事での吹奏と県内では珍しいドリル演奏があります。ドリル演奏は、曲を演奏しながらさまざまな図形を作るように行進をします。

練習は、6日間、朝5時20分から6時30分の限られた期間で行います。曲を演奏しながら行進すること、限られた期間で完成させなければならぬことは非常に大変なことです。春秋の観閲式で披露するのですが、観覧いただいている市民の皆さん・消防団員からの拍手喝さい、感動したよ、最高等の言葉をもらうと本当にやって良かったと毎回感じます。

ラップ隊は定期練習として、毎月1日と15日に南消防署で練習をしております。

ドリル演奏・定期練習で指導いただいているラップ部会長・隊長・副隊長には、とても感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

定期練習に参加できなかった隊員、上手になりたい隊員のため「大内塾」と称して私とOB・ラップ隊員数人で自主練習をしています。

「大内塾」では、私とOBの方が中心となって指導するのですがあまりラップが吹けなかつた隊員が、上手になつていく姿、ありがとうございますなどの言葉をもらうと嬉しくなります。

最後に、近年消防団員の不足が問題となつており私も心を痛めております。消防団活動は大変なこともありますが、地元へ貢献できやりがいがある活動です。私の文書を読んで、少しでも消防団に興味を持ってくれる方がいれば幸いです。

来月は、沼祐助さん（本宮字万世）の予定です。



こどものひろば

節分の豆まき

2月3日は節分の日。市内の各保育所・幼稚園では豆まきが行われました。

第1保育所では、1才から5才までの園児100人が、自分の体の中にいる悪い鬼を退治しようと、伝統行事を楽しみました。

子どもたちは、先生から豆まきの由来についておはなしを聞き、「みんなだ鬼をやっつけよう」と意気揚々はりきっていました。そのあとは、鬼が嫌いな臭いだと言われる「いわし」を一〇一〇かみしめるように食べる



豆まきを楽しむ子どもたち

と準備は万端。いよいよ豆まきが始まります。

豆まきでは、つばめ組（5才）の皆さんが手作りのお面をかぶり、鬼に仮装して、各教室を回りました。年長組さんがふんする鬼に負けじと、年少組さんたちは、紙を丸めて豆に見立て、力いっぱい投げて鬼を退治しました。

見事自分の中の鬼を退治することができた皆さん。行事の最後には、健康に1年過ごせますように、年の数だけ豆を食べました。

活躍人訪問

堂宮彫刻師

井上 栄政 さん

寺社の欄間らんまや墓股かふるまた（梁と梁の間に入れ建物を支える木材）に龍や獅子などを装飾する伝統芸術。それが堂宮彫刻です。県内でも珍しい堂宮彫刻師の井上さんにお話を伺いました。

■ 確固たる決意で入門した道

神奈川県川崎市生まれで、15歳で堂宮彫刻の道に進みました。私は持病があり、中学を卒業した後、内定をもらっていた一般企業にもそれを理由に内定を取り消されてしまいました。自分にはどうすることもできない挫折を味わいました。そうした失意の中で出会った

のが彫刻でした。当時自宅の近所で堂宮彫刻を営んでいた後の師匠と出会い、江戸時代まで栄えていた堂宮彫刻が欧米化の流れにより衰退していった現状を知りました。師匠からも「この仕事では食べていけない」と反対されましたが、「この伝統芸術を絶対なくしてはいけない」その思いから頼み込み、弟子入りさせてもらいました。職人の修行は厳しく、弟子仲間が辞めて行く中、自分にはこの道しかないという思いで乗り越え、立川流の堂宮彫刻師を名乗ることができるようになりました。

■ 伝統の技で現代を表現する

堂宮彫刻は江戸時代初期に確立し、立川流は江戸後期にさまざま異なる流派を統合する形で誕生しました。立川流の特長は、作品を下から見上げたときに、良くわかります。欄間らんまや墓股かふるまたといった高い位置に飾ることを想定しているため、見上げたときに、より立体的で躍動感があるように彫るのです。

そうした伝統の技を生かしながら取り組んでいるのが、現代の世相を取り入れることです。今、製作している親子龍は、津波と原発をテーマに、復興のため懸命に努力する親子龍を彫っています。

作品は後世に残るものなので、どんな仕事にも手を抜かず製作します。職人たちの思いに気づいてくれる人が増えるとうれしいです。



約200本の道具を使い分け、ケヤキの大木から龍を彫る井上さん



1. 鬼が苦手ないわしを食べ豆まきの準備は万端！ 2. つばめ組さんがふんする鬼が登場。この日のために作った鬼のお面をかぶりました 3. 豆まきがスタート。みんなおおはしゃぎで豆をなげました

FM Mot.Com 秘情報

あの声は、私です…



《パーソナリティ紹介》

- ◆ ラジオネーム：徳永耕太
- ◆ 本名：徳永耕太
- ◆ 出身：南会津町田島
- ◆ 趣味：よさこい

・ラーメン屋めぐり

◆ 担当番組：今夜も んだNIGHT

(毎週金曜日 午後5時)

◆ リスナーに一言：身近な情報や、マニアックでちょっと笑える話題をお伝えします！